

会 議 名	第 1 回 港区子ども・子育て支援事業計画策定に係る調査及び支援業務委託事業候補者選考委員会
開 催 日 時	平成30年6月5日（火曜日）午後1時14分から午後1時45分
開 催 場 所	港区役所 防災危機管理室会議室
委 員 員	有賀委員長、西川副委員長、山越委員、藤原委員、山本委員
事 務 局	子ども家庭課子ども家庭係
会 議 次 第	1 開会 2 委員の紹介 3 審議事項 （1） 募集要項(案)について （2） 審査（採点）基準（案）について （3） 選考のスケジュール（案）について 4 今後のスケジュールについて 5 閉会
配 付 資 料	〔席上配付〕 資料1 港区子ども・子育て支援事業計画策定に係る調査及び支援業務委託事業候補者選考委員会設置要綱 資料2 選考委員名簿 資料3 募集要項（案） 資料4 仕様書（案） 資料5 第一次・第二次審査の進め方 資料6 選考採点表（案） 資料7 選考スケジュール
会議の結果及び主要な発言	
事務局	1 開会 （委員会の趣旨説明、配付資料の確認）
A委員	2 委員の紹介 <資料1，資料2を確認>
事務局	3 審議事項 （議題（1），（2）をまとめて審議） <資料3～資料6までの説明>
B委員	何社ぐらいを想定しているのか。
事務局	概ね2～3社ぐらいを想定している。 5年前に公募した際は4社。
B委員	資料3の募集要項（案）5ページの提出書類7番「苦情発生後の処理方法」とは、どんな内容を想定しているのか。

事務局	<p>予期せぬトラブルの対応として、アンケートをとるうえでの丁寧な対応に繋がるもの。募集要項（案）10ページ項番7のエにも記載したが、その範囲で提案してもらいたいと考えている。</p>
B委員	<p>なかなか想定するのは難しいのではないか。今回は無かった項目か。以前に何か問題があったのか。</p>
事務局	<p>想定にはなるが、この調査に限らず調査の時によくある苦情として、「区から次々と似たような調査が届き、以前も協力したがまた回答しなくてはいけないのか」、「同時期に別の部署からも調査が届いたが郵送料（税金）の無駄遣いではないか」などがある。</p> <p>実績がある事業者を選定するので、過去の経緯からトラブルを想定し、あらかじめ回避する手法を提案してもらいたい。</p>
A委員	<p>調査業務特有の苦情を予測して、それに対する対応をきちんと提案してもらえれば得点は高くなるという理解でよろしいか。</p>
C委員	<p>資料4の仕様書（案）の項番5（1）に調査対象3,000件とあるが、これとインターネットとの関係がわからない。3,000人は郵送で、インターネットはどのようなイメージなのか。</p>
事務局	<p>抽出した3,000人が郵送及びインターネットのどちらでも回答できるという意味。わかりにくいようならば、記載方法は工夫する。</p>
D委員	<p>資料6選考採点表（案）の「5 見積経費」について、各委員が提案内容に対する金額の妥当性で判断してよいのか。</p>
事務局	<p>安ければ良いという事でもない。内容と金額が兼ね合っているかという視点で、上限を超えないということを大前提としつつ判断していただきたい。</p>
A委員	<p>金額を審査員に判定させるのは、あまりないのではないか。もっと機械的に採点してもよいのでは。</p> <p>点数配分の「×4」はかなりウエイトが高いと感じるが、金額のポイントが高いとプロポの意味がないと思う。予算をいっぱい使っても良い仕事をしていただきたいというのは大前提で趣旨だと思う。</p> <p>「×1」にして機械的に事務局採点でも良いのではないか。</p>
事務局	<p>事務局採点にするのならば、加算率は下げたほうが良いと思う。合計点数は出来れば切りのいい数字にまとめておきたい。他に加算係数を上げたほうがよい項目などがあれば調整する。</p>
A委員	<p>D委員の意見については、事務局採点で機械的に行うことで調整してよいか。</p>
全委員	<p>～ 了 ～</p>
事務局	<p>点数の振り分け等も含め、再度調整する。</p>
E委員	<p>資料4の仕様書（案）1ページの項番5（1）①調査票の作成に「調査項目については、提案すること」とあるが、前回の調査項目等ではなく、新たなものを提案してもらおうのか。</p>

事務局	<p>国から示される部分は調査項目に入れる。</p> <p>また、引き続き調査したほうがよいという項目もあるが、それに限らず前回の内容に補足する質問などの提案があれば、参考にしていきたい。</p>
E委員	<p>基本は、国が示す項目がベースにあり、それ以外にプラスαで行うのか。</p>
事務局	<p>港区の必要とするニーズを汲みあげるためのものになる。</p>
E委員	<p>提案されたものは、検討するのか。</p>
事務局	<p>事業者が決定した後、国から示された項目、他自治体の動き、過去の状況などを踏まえ検討し、最終的には子ども・子育て会議での意見聴取も行って確定版とする。</p>
E委員	<p>子ども・子育て会議に諮る前に、庁内でも確認するのか。</p>
事務局	<p>子育て推進会議などでも確認する。</p>
C委員	<p>資料4の仕様書(案)1ページの項番4の概要ところで、「調査結果の集計、分析から各事業のニーズ推計を行う」とあるが、ニーズ推計については、項番5の業務内容に入っていない。5年分の推計なのか10年分なのか等、具体的に指示したらどうか。</p> <p>できれば人口推計が出ている年度までは、提出してもらおうなど、仕様書に盛り込んではどうか。</p>
事務局	<p>仕様書(案)を加筆し、港区が求めるものを提出してもらおうように工夫する。</p>
A委員	<p>資料3の募集要項(案)3ページのイに「この調査業務の実績を有する。」とある。かなり限定されているが、「門を閉ざした募集」ということで問題はないのか。</p>
事務局	<p>全国どこの自治体でも行っている調査になるので、ここで縛りをかけても問題はない。</p>
A委員	<p>「この調査業務に類するような調査」として、少し門を広げてはどうか。これでも門を狭めていることにならないという判断が事務局にあるという考えでいいのか。</p>
事務局	<p>現在、他自治体でも同様のプロポーザルを行っていて、募集要項は同様の表記になっていることを確認しているが、調整する。</p>
A委員	<p>資料5の第二次審査のところで、「10分間のプレゼンテーション」とあるが、10分間では短くないか。15分くらいが適当ではないか。</p>
事務局	<p>ヒアリングを15分としているが、相手の回答時間も考えると質問は1問くらいしかできないのではないかと思う。その辺りを踏まえ、意見をいただきたい。</p>
各委員	<p>各15分くらいでいいのではないか。</p>
A委員	<p>では、プレゼンテーション15分、ヒアリング15分程度にする。</p>

事務局	評価の最低ラインについて、事務局としては、評価は6割を最低ラインとした いと考えているが、その意見をいただきたい。
A委員	その辺は、いかがか。
全委員	～ 了 ～
A委員	基本的に6割に満たなかったら、やり直すことになるのか。
事務局	たとえ応募が1社であったとしても、失格としてやり直しになる。
A委員	第二次審査の資料は、第一次審査の資料で行うなど、何か限定しているのか。
事務局	現段階で規定はしていない。第一次審査の資料で比較が困難ならば、それを補 足する追加の資料も必要だと思う。
A委員	第二次審査で全く別の資料を提出されてプレゼンテーションされても審査が困 難になる。第二次審査も第一次審査の資料を使うことを踏まえ、資料提出をして もらいたい。
事務局	基本はそのつもりなので、記載が足りない部分は補う。 募集要項の12ページに「プロポーザル設定課題」を3つ設けていて、それは プロポーザルの中心になるもの。書類審査から生まれた確認したいことは、第二 次審査に進んだ事業者に条件として統一に示していく。
A委員	ほかに、ご意見は。
全委員	～ なし ～
A委員	なければ、各委員の意見を踏まえ、募集要項等を事務局で修正してもらおう。中 身については委員長一任で決定とし、後日、各委員に送付することで、よろしい か。
全委員	～ 了 ～
A委員	3 審議事項 (議題(3)の審議)
事務局	<資料7の説明>
A委員	審議に入りますが、何かご意見は。 (意見聴取)
全委員	～ なし ～
A委員	なければ、審議事項(3)は、これで決定する。
全委員	～ 了 ～

A委員 事務局	4 今後のスケジュールについて ＜スケジュール説明＞
A委員	5 閉会